

## 第 23 回東北少年フェンシング大会開催要項 訂正箇所を赤で表示

主 催 東北フェンシング連盟・第 2 3 回東北少年フェンシング大会実行委員会

主 管 福島県フェンシング協会

後 援 (社)日本フェンシング協会・川俣町・川俣町教育委員会・  
「この大会は日本フェンシング協会の認定大会です」

期 日 平成 2 5 年 3 月 3 0 日 (土) ~ 3 月 3 1 日 (日)

3 0 日 (土)		3 1 日 (日)	
練習会場	9:00~競技終了	練習会場	8:00~競技終了
技術委員会	11:00~11:20	競 技	9:00~13:30
監督会議	11:30~12:20	閉 会 式	13:30~14:00
競 技	13:00~17:30		

会 場 川俣町体育館  
〒960-1492 伊達郡川俣町大字東福沢字万所内山 2  
TEL 024-565-3931

種 目 フルーレ個人戦

種 別 小学校男子 A (小学新 5~6 年) 小学校女子 A (小学新 5~6 年)  
小学校男子 B (小学新 3~4 年) 小学校女子 B (小学新 3~4 年)  
小学校男子 C (小学新 1~2 年) 小学校女子 C (小学新 1~2 年)  
中学校男子、中学校女子  
※人数により男女混合の場合があります。

参加資格 (1)平成 24 年度事業としての扱いであるが、エントリーについては小学生は新 1 年生以上  
で中学生も新学年でのエントリーとする。  
(2)選手、監督とも平成 25 年度日本フェンシング協会登録会員であること。  
(3)選手の保護者及び所属学校長に承諾を得たもの。

監 督 等 監督は 1 種目につき 1 人とし、監督代行は種別毎に次のとおりとする。

選手の数	1 人	2 人~5 人	6 人以上
監督代行	認めない	1 人	2 人

表 彰 第 8 位までに賞状、第 3 位 (2 人) までに記念品を授与する。

参 加 料 1 人 2, 5 0 0 円 (申し込み後は返還しない。)

参加申込 参加料を下記口座に振り込み、別紙の参加申込書に必要事項を記入のうえ、参加料の銀行振込の控え（コピー等）を添付して平成25年3月13日（水）までに郵送又はFAXで申し込むこと。

- ・参加申込書郵送先 〒960-1492 伊達郡川俣町大字東福沢字万所内山2  
第23回東北少年フェンシング大会実行委員会 宛て 電話 024-565-3931  
FAX 024-565-3932
- ・銀行名 東邦銀行 川俣支店 普通口座649218
- ・名義 東北少年フェンシング大会事務局長 佐藤光正

宿泊 「おじまふるさと交流館」の宿泊は、上記の実行委員会宛出場チーム毎FAXでご予約ください。 1泊2食：小・中学生3,400円 大人4,400円  
※おじまふるさと交流館の定員は70名です。  
定員になりましたら、各自で宿泊の手配をお願いします。

競技方法 下記競技方法による。ただし参加人数により変更する場合がある。

注意事項 (1)規定のユニフォーム、プロテクターを着用すること。

(中学生)

- ・ユニフォーム上下350N
- ・F.I.E公認マーク付き半袖付プロテクター800N
- ・F.I.E公認マーク付き**メタルビブ付マスク**1600N  
日本フェンシング協会より下記の内容の通達があり  
「平成25年度全国少年フェンシング大会個人戦及び全国少年フェンシング大会団体戦において、中学生フルレマスクのメタルビブ着用を義務付ける。」  
※今回の大会より適用いたします。

(小学生)

- ・F.I.E公認マーク付き半袖付プロテクター800N

(2)マスクは、後部脱落防止のついたものを使用すること。電導ビブは採用しない。

(3)ストッキングは肌を露出しない長めで厚手のものを着用すること。

(4)ゼッケンは、名前、所属を縦15cm横20cmの白布に明瞭に書き、後ろ大腿部につけること。

用具検査 (1)混雑緩和のため用具検査は行わない。ただし、別記事項に沿って剣・用具等は各自チェックした上で持参すること。

(2)検査は、試合前にピスト上で審判が行い、ルールに適合しない用具等がある場合には罰則を適用する。

傷害保険 各所属において、選手全員が傷害保険に加入すること。

- その他 (1)中学生男女3位(4名)まで第20回JOCオリンピックカップに推薦する。  
(2)審判員の確保が困難なことから、大会引率の指導者の中から審判員に依頼することがある。

### 競技方法

試合規則 国際フェンシング連盟試合規則(改正部分は、できる限り最新のもの)を準用する。  
なお、一部については、(社)日本フェンシング協会の定める試合規則及び全国少年大会のルールを適用する。

試合方法 1回のプール戦とエリミナシオンディレクトの混合方式とする。

- (1)1回戦は、1プール5~6人とし、全試合行う。
- (2)エリミナシオンディレクトは、敗者復活戦のない方式とする。
- (3)シードにおける順位は、1回戦の結果(バラージュの結果はこれに含めない。)により下記の要領で決定する。
  - ①勝率 高い方を上位とする。
  - ②指数(TD-TRの高い方を上位とする。ただし、各プールの人数が異なる場合はTD/TRの高い方を上位とする。)
  - ③突数(TDの多い方を上位とする。ただし、各プールの人数が異なる場合はTD/Mの高い方を上位とする。)
  - ④抽選(ただし、エリミナシオンディレクト出場の最下位選手が複数の場合は、バラージュ)

※参加人数により種別及び競技方法が変更になる場合があります。

その他詳細は、技術委員会の指示による。

- 組み合わせ (1)プール戦は当年度全国少年大会のベスト8、前年度東北少年大会のベスト8のシード  
同県、同所属内シードを考慮する。  
(2)エリミナシオンディレクトは、1回戦の結果により組み合わせを行い、所属については一切考慮しないものとする。

※組み合わせは当日発表

- 試合 (1)プール戦 3分間(実働)5本勝負  
(2)エリミナシオンディレクト 3分間(実働)\*2セット、10本勝負(マッチ間の休憩は、1分)  
(3)エリミナシオンディレクト出場の人数は、参加人数により技術委員会が決定する。  
(4)すべての試合に於いて、試合時間が終了した場合には試合終了時点のスコアをそのまま記録し、勝者にはVを、敗者には突き数のみを記す。同点で試合時間が終了した場合には、優先権を決定するための抽選を行う。1本先取で勝敗が決した場合は、延長戦前のスコア(同点)に1本加算するものとする。ただし、同点で延長戦の時間が終了した場合は延長戦前のスコア(同点)に優先権のある選手にVを付すものとする。

コ ー ル 原則として当該種別の試合時間30分前とするが、試合時間が早まる場合があるので、試合開始予定時間の1時間前には、会場で待機するものとする。

### 用具検査

混雑緩和のため、用具検査は行わない。ただし、下記事項に沿って、剣・用具等は、所属毎にチェックした上で持参すること。検査は、試合前に審判がピスト上でチェックし、ルールに適合しない用具等があれば、罰則を適用する。また、特に円滑な運営を図るため、下記について充分整備しておくこと。

#### マスク

縫い目の腐食と絶縁不良、12kgの耐圧強度、縫い目のほころびと腐食、脱落防止用安全バンドの装着。

#### 剣（※ピスト脇に予備を準備のこと）

剣身のさび、ガードの変形、剣先の絶縁15cmポイントの圧力500g以上、ソケットの脱落安全装置等。

#### ボディワイヤー（※ピスト脇に予備を準備のこと）

わにぐちクリップの幅1cm以上、配線40cm以上で接続ハンダ付け（絶縁しない）されている等。

#### メタルジャケット

試合開始前のテストで、破れ、縫い目のほころび、襟の酸化（サビ）等で白ランプの表示が出ないこと。